

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	虐待防止の徹底について、高齢者虐待防止関連法をQM研修にて学び、ホーム内で虐待が見過ごされることが無いよう注意を払い、防止に努めているが、虐待の芽である不適切なお声掛けが改善出来ていない。	ご利用者の尊厳、相手のことを思いやり謙虚さを失わない。また、公津の杜のスローガンである寄り添う心を実現する。	不適切なお声掛けの改善に向け、がy躯体研修の実施、敬語月間と評し、各ユニット入口にポスターを貼る。また、介護現場をビデオ撮影し現状を確認し、改善を図る。	3ヶ月
2	40	食事を楽しむことのできる支援について食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片づけが出来ていない状況が見られる。	食事の楽しみに、食事作りをご利用者自ら参加し、食事の準備から提供までの過程を楽しんで頂ける。個人の好みを把握し、美味しく楽しく召し上がって頂ける。	ご利用者の能力を再確認し、持っている能力に応じて、食事作りに参加頂く。食事のアンケートを居室担当が聞き取り、アンケートを提出して頂く。内容を確認。食事作りから、嗜好品を含み、満足度を確認し、改善する。	3ヶ月
3	35	災害対策。火災や地震、水害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけると共に、地域との協力体制を築いているに関し、実行できていない。	事業継続計画(BCP)の必須化に向け、ホーム独自の事業継続計画の作成に努め、災害発生後にどのようにホームを運営していくか検討する。	災害発生時に継続して運営が出来るよう、計画(現在本部にて検討中)を立てる。災害時の避難訓練を実施。停電を想定した、食事の提供を実施する。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。